

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**115**

令和6年(2024)
4月1日発行



「やぶ椿」 祝迫正豊

INDEX

時代を読む	1
川上 秀一	
九州ブロック介護老人保健施設大会	
「美ら沖縄」	2~3
研く 究める	4~9
令和5年度 研修会	10~12
協会だより	12
ろうけん広場	13
ぶらぶらが素敵 かごしま ¹⁵	14~15
こぼれおちたものもの ³⁹	16
三角 みづ紀	
かごしまの食卓 春編	17
介護用品あれこれ	18~19
あなたの地域の介護老人保健施設	20~24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「やぶ椿」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。

時代を読む

鹿児島県高齢者保健福祉計画 作成に参画して

鹿児島県老人保健施設協会 理事

川上 秀一



令和4年7月から鹿児島県高齢者保健福祉計画作成委員会に鹿児島県老人保健施設協会の立場で出席している。令和5年度に議論されたのは、令和6年4月から3年間施行される第9期高齢者保健福祉計画の介護に関することだった。

第1回目の委員会が、9月、県庁舎18階の特別会議室で開催された。会議室からの素晴らしい展望を見ながらの議論を期待していたが、そうではなかった。閉鎖された会議室で、快答がない諸問題について全員が議論した。私は、介護老人保健施設は在宅生活が維持できなくなった高齢者にハビリティを行い、自宅生活が可能になれば在宅へお返しする在宅支援施設であるから、地域包括ケアシステムを深

化・推進するに当たり、介護老人保健施設を中心に考えてほしいと述べた。また、在宅で最期を迎えたいという希望が多いことを踏まえ、もう少し県民へACP（人生会議）の周知するようをお願いした。

10月、第2回目の委員会にはオンライン参加した。私は老健協会の理事をしているものの、普段の仕事は診療所の開業医であるため時間が取れなかったからだ。それから、老健施設の日々の現場をよく知らない。この点を埋めるためにできるだけ当法人の老健施設に出向き、入所者や職員と話をするようにしている。また、老健施設に往診したり、施設長不在時に看取りをしたり、胃瘻患者さんのカテーテル交換をすべて引き受けて行っ

ている。

さて、話が逸れたが、この日の会議で座長の岩田俊郎氏（子育て・高齢者支援総括監）から介護助手について質問があった。介護助手は、平成27年、三重県の介護老人保健施設において元気が高齢者が介護職員の仕事を助ける目的で始まったもので、令和2年から全国に広まっている。鹿児島県においては、老健アシスタントとして募集しており、現在5施設で進行中で、介護職員の負担軽減、介護職員の離職低下につながっているのではないかと答えた。

第3回目は診療所を休診にして参加した。11月に開催された鹿児島県医療法人協会総会において元厚生労働副大臣橋本がく氏の講演を拝聴していたので、その内容を参考に発言した。つまり、国の政策は高齢者中心から『こどもまんなか政策』になると聞いた。国は、高齢者対策を軽視したのではなく、2040年に向かって誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指しており、その取り組みとして、私が理解できたのは、ロボット・AI・ICT等の実用

化推進、シニア人材の活用、外国人介護人材雇用促進だった。当法人でも6人の技能実習外国人が働いているが、とても助かっている。日本人職員が休みたがる日曜祝日、職員の子の学校行事日に働いてくれて感謝していると発言した。

令和6年2月、最終の委員会があった。田崎寛二会長（鹿児島県社会福祉協議会常務理事）の司会で活発な意見が交わされ、たいへん立派な第9期高齢者保健福祉計画が出来上がった。

今年は3年ぶりの介護保険制度の報酬改定が行われ、4月と6月から施行される。プラス1・59%という改定だそうだが、介護老人保健施設については4月からの実施となり、1.0~4.1%のプラスが見込まれている。在宅復帰・在宅療養支援機能が高い在宅強化型がプラス4.1%と評価された。当法人の老健でシミュレーションした結果、プラスになり少しほっとしたが、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向けて、これからも頑張ろうと思う。



アメニティ国分 岡元香織さん



基調講演を行う、東憲太郎・全国老人保健施設協会会長

ることを報告。「被災された仲間を私たちがサポートしていきましよう」と、義援金などへの協力を訴えました。

基調講演は東会長が「令和6年度介護報酬改定と老健施設の未来」と題し、制度の改定についてわかりやすく説明しました。「超高齢社会を支える老健の未来」のテーマでシンポジウムが開かれたほか、5つのランチョンセミナーもありました。



ありあけ苑 田原有佳里さん

「「まだするの？」から「自分のことだから頑張らない」とへ1年間リハビリを継続し、移乗動作2人介助から自立となった一症例」

田原有佳里さん||ありあけ苑(志布志市)

鹿児島関係の発表は次の通り。

「「出来る活動」を「している活動」に介護指導も踏まえた在宅復帰への取り組み」

岡元香織さん||アメニティ国分(霧島市)

70代男性。在宅復帰に向け、リハビリ時に「できている動作」を生活の中で「する動作」につなげる取り組みと、ケアスタッフによる介護指導で在宅復帰を果たした事例を報告。男性は妻に介護の負担をかけることに対して「このままではいけない」という気持ちが芽生え、積極的にリハビリに取り組むようになった。



愛と結の街 徳田めぐみさん

「Let's 脳トレ」& MMSE から見えてきた効果」

徳田めぐみさん||愛と結の街(鹿児島市)

利用者の興味や残存能力を生かしながら個別機能訓練を行い、認知機能レベルを客観測定するMMSE(ミニメンタルテスト)検査)を用いた評価を実施。1年間を通して、維持向上が図られた利用者の割合が多くあったため、効果につながった機能訓練の内容と結果を分析して報告した。

70代女性。寝たきりで意欲も低下。移乗時、トランスファーボードを使用して2人全介助だったため、当初は介力量軽減を目的に個別リハビリの回数を増やして1年間取り組んだ。その結果、当初の目的よりも大きく日常生活動作(ADL)が改善し、在宅復帰へつなげることができた事例を紹介した。



各セッションでは参加者らが発表を熱心に聞き入っていた



座長を務めたアメニティ国分の柿本智治副施設長

◆◆◆

第7セッションの「全般的なケア/食事・栄養・口腔ケア/在宅支援・地域支援」では、アメニティ国分(霧島市)副施設長の柿本智治さんが座長を務め、スムーズな会合運営を行いました。

Roken Report



地域共生社会の復権と老健をテーマに開会した大会会場。全国の関係者が参加した

九州ブロック介護老人保健施設大会「美ら沖繩」
 “いちゃりばちよーでー老健”
 ～在宅生活支援、私たち老健の役割～

域内の約800人が参加
 鹿児島は3施設が発表

第22回九州ブロック介護老人保健施設大会「美ら沖繩」は、2月1、2の両日、沖縄県宜野湾市の沖繩コンベンションセンターで開催されました。大会テーマは「いちゃりばちよーでー老健」。在宅生活支援、私たち老健の役割。「いちゃりばちよーでー」は「一度会えば皆兄弟」という、地元の言葉です。九州・沖縄各県から約800人が参加しました。

2日間でおおよそ100件の演題発表があり、鹿児島は3つの施設が日ごころの取り組み成果を発表しました。

開会式の冒頭、元日に発生した能登半島地震の犠牲者に黙とうをささげました。大会会長の平良直樹・沖縄県老人保健施設協議会会長は「被災地を多くのさまざまな力が支えています。弱者を支える活動はわれわれ介護の世界の行動に似ていると感じています」と挨拶。大会を通し「楽しく学び、情報を共有してほしい」と呼びかけました。

来賓として出席した全国老健協の東憲太郎会長(南さつま市加世田出身)は能登半島地震の発災当日から全老連が災害対策本部を設置し、老健施設だけでなく高齢者施設への支援を続けてい

研究 究める

よりよい介護を日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

COVID-19感染後の利用者への影響を考察する —感染前後をデータより比較検討—

まろにえ介護老人保健施設（鹿児島市） 看護師 前永 和枝

【背景】

2022年10月10日に入所者1名のCOVID-19陽性発覚後、10月23日の最終発生までに入所者64名（92・7%）職員23名が感染するクラスター（集団感染）が発生し最大56名の陽性者を施設内で対応することになりました。

【対象】

COVID-19陽性者64名中、2023年6月時点で在所されている45名の利用者
男性16名、平均年齢82・8歳（65-91歳）、女性29名、平均年齢89・2歳（73-100歳）

【方法】

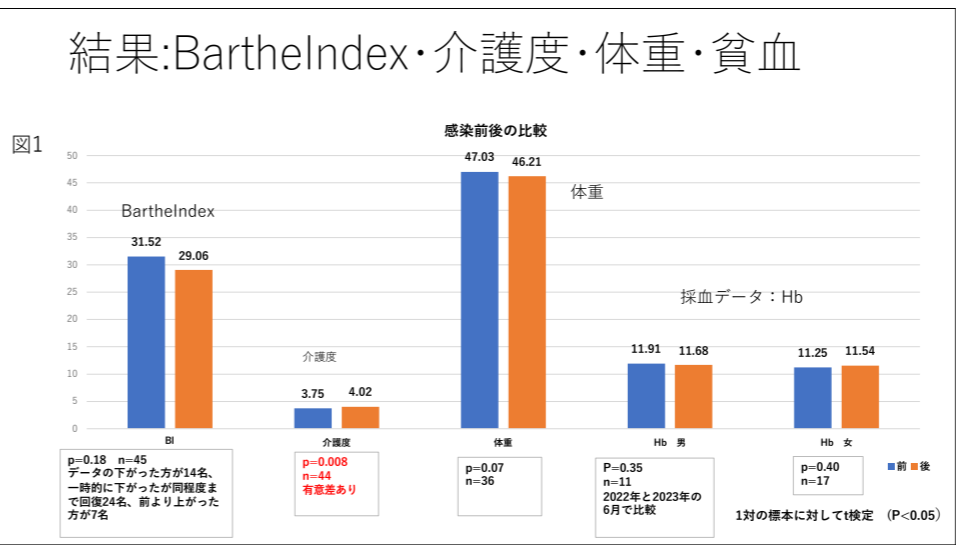
対象者の感染前後のADL評価等をデータ、記録より収集し、評価・考察する。また、1対の標本に対してはt検定を行う。

【結果】

BarthelIndexについては、感染前の平均は31・52、感染後は29・06で有意差はありませんでした。データの上がった方が14名、感染前より上がった方が7名、一時的に下がったが、同程度まで回復された方が24名いました。

BarthelIndexについては、感染前の平均は31・52、感染後は29・06で有意差はありませんでした。データの上がった方が14名、感染前より上がった方が7名、一時的に下がったが、同程度まで回復された方が24名いました。

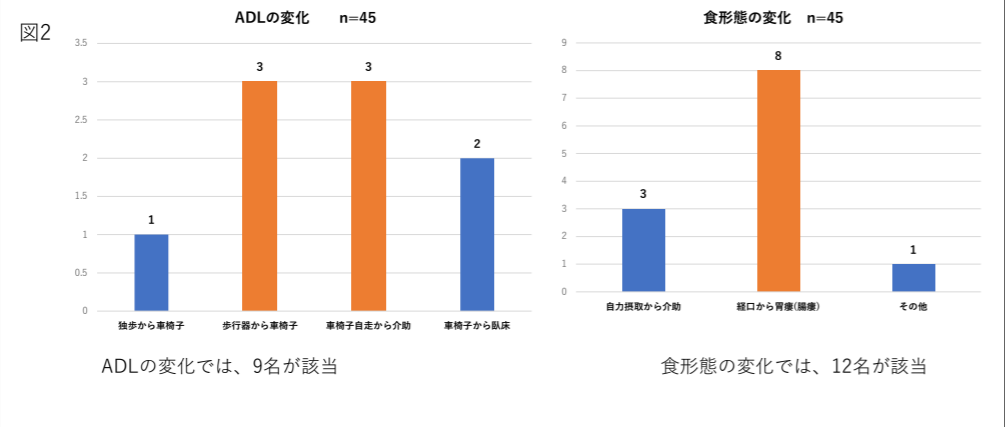
感染後に介護区分変更者が7名おり、感染前の介護度3・75が感染後4・02となり、この項目では有意差を認めました（ $p=0.008$ ）
体重測定では、感染前平均47・03kg、感染後46・21kgで有意差は認めませんでした。



結果:BarthelIndex・介護度・体重・貧血

BarthelIndexについては、感染前の平均は31・52、感染後は29・06で有意差はありませんでした。データの上がった方が14名、一時的に下がったが同程度まで回復された方が24名、前より上がった方が7名

結果:ADLと食形態の状況



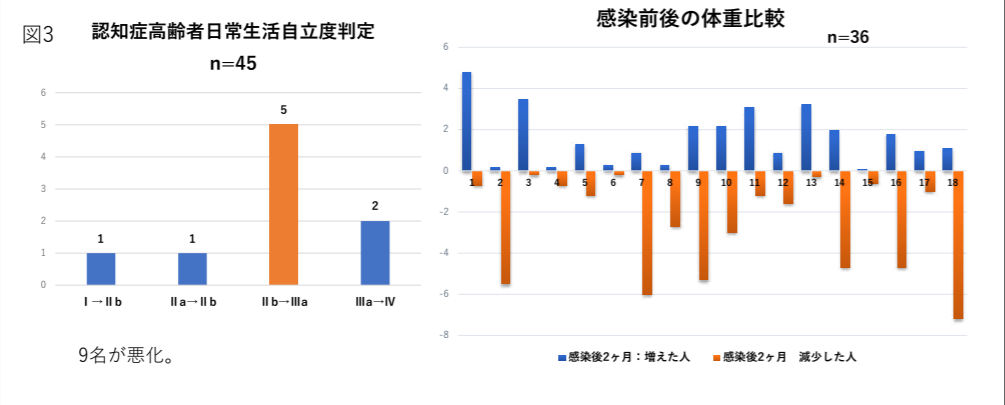
また、食形態を変更した方は12名おり、自力摂取から介護摂取が3名、経口食から胃瘻、腸瘻への変更が8名、その他1名で全体の

26・67%となりました。（図2）更に認知症高齢者の日常生活自立度判定では、9名が感染前より悪化していました。（図3）

COVID-19感染後の後遺症として、国立国際医療研究センターの報告では、COVID-19治療後の患者の約半数程度になら

備、人員が整わない中で、酸素吸入や吸引、点滴、急変対応等余儀なくされ、スタッフへの影響も多大なものがあつたと推察します。スタッフの惨事ストレス等も考慮し、面接等も行いました。また、介護度で有意差を認めた事は、評価項目の低下・悪化が影響していると考えます。

結果：日常生活自立度・体重変化



当施設では在所45人中、BarthelIndex指数の低下や、認知症高齢者の日常生活自立度判定の悪化、食形態変更や介護区分変更者、更に移動変更等重複者を除き、27人（60%）にADLやQOLの低下を認めました。

COVID-19感染による高齢者への影響は、様々な因子からみ、複雑な要因から、身体的、精神的に影響を与え、ADLやQOLの低下に繋がると考えます。しかし、今回の調査で、一時的なADLの低下を招きましたが、感染後数ヶ月で70%近くの方が回復、改善している事も明らかとなり、感染後早期から始めた、リハビリテーションや隔離解除となつた方々から、速やかに日常生活へ戻した事、施設内の職員が対応した事などがかなり精神面に影響していると考えます。

研究 究める

よりよい介護を日々研さんを重ねている各施設・各種種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

ウォークトレーニングロボが最大歩行速度に及ぼす影響

医療法人明正会 介護老人保健施設 指宿温泉菜の花苑(指宿市) 理学療法士 大浦 拓也 理学療法士 野村 英幸 医師 今林 正規

【背景】

高齢者の自立と質の高い生活を送るには、疾病の予防だけでなく、日常生活動作の低下を防ぐことが重要である。

近年の疫学研究では、健康寿命の延伸には歩行機能を維持・向上することの重要性が強調されている。令和3年4月、パナソニック社はウォークトレーニングロボ(以下WTR)を開発した。本機のコンセプトは「いつまでも自分の足で元気に歩きたい。そんな思いをサポートする」とし、歩行に不安を抱える高齢者に安心して適切な訓練を日常的に使用することで、使うたびに元気になることを目的とした歩行支援ツールである。



歩行訓練の様子①

【対象】

当施設に入所する利用者32名を対象とし、A群B群間で比較検討した。歩行に影響を及ぼすような麻痺といった問題を有さず、独歩や杖歩行、押し車歩行が自立し、ペースメーカー不使用で本機を使用している利用者をA群16名(男性4名、女性12名、年齢87.3±5.3歳)とし、本機を使用していない利用者をB群16名(男性0名、

女性16名、年齢89.8±5.7歳)とした。

【方法】

A群B群共に1回20分の個別リハビリを週3回以上の頻度で実施した。個別リハビリの訓練内容は、歩行訓練を中心に筋力増強・バランス訓練・ADL訓練を行い、歩行訓練は休憩を含め10分程度とした。なお、歩行訓練時A群はWTRを使用し、B群は普段使用している歩行補助具を使用した。WTRの負荷量は、AI設定とした。検査方法として10mの最大歩行速度を2回計測し、最速値を採用した。

【結果】

使用前と12週目を比較しA群は0.09%の上昇を認め、B群は変化を認めなかった。A群とB群間において条件間での有意差を認めた。

【考察・まとめ】

A群は最大歩行速度が上昇し有意差を認めた。WTRは、前方移動に対して逆方向のベクトルにAI制御による適切な運動負荷がかかり、短時間で効率的な運動を可能にするという機能が備わっている。歩行速度の上昇には下肢・体幹筋力の強化が関わっていると報告があることからWTRを週3回以上使用し歩行訓練を行ったことで、下肢の筋活動が増大し歩行速度の上昇に繋がったと考える。今回研究データ集計後の4カ月間の転倒報告は、B群で3件A群は0件であった。先行文献によると、歩行速度が将来の転倒を予測する有意な因子であること、を指摘し、歩行速度の上昇が安定した歩行を獲得するうえで重要なことを示唆している。WTRを使用する事により歩行速度が上昇し転倒リスクの軽減に影響があったと考

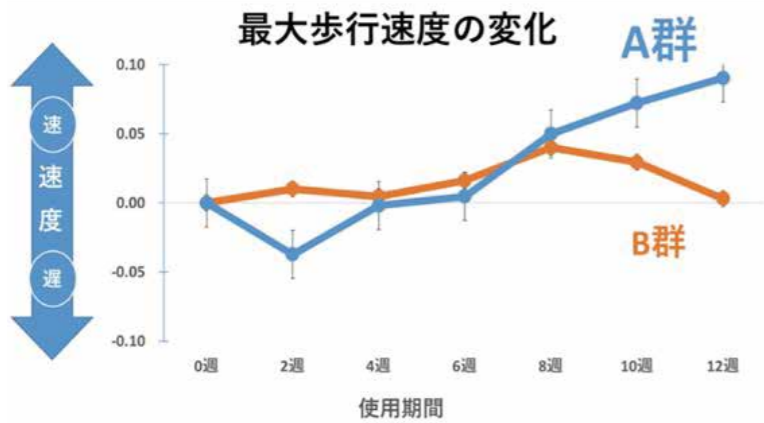
基本属性

表1 A群(Walk training robo使用者)	
年齢(歳)	87.3±5.3
身長(cm)	151.6±6.8
体重(kg)	51.2±8.4
BMI	22.2±3.1
男性/女性(人)	4/12
介護度	2.1±1.0

表2 B群(Walk training robo不使用者)	
年齢(歳)	89.8±5.7
身長(cm)	145.4±6.4
体重(kg)	45.4±8.7
BMI	21.2±3.1
男性/女性(人)	0/16
介護度	2.4±1.1

期間 12週間(令和4年4月~6月)
 対象 生活期の利用者
 A群: 16名(男性4名,女性12名)
 B群: 16名(男性0名,女性16名)
 方法 歩行頻度: 週3回以上、約10分/回
 負荷: 約5.3METs(AI設定)
 検査 10m歩行(最大歩行速度)を2回計測し最速値を採用
 対象と方法

える。B群は最大歩行速度が変化せず有意差を認めなかった。介護老人保健施設による個別リハビリ介入は3カ月後の立位や移動能力の改善に有効であることから、12週間の個別リハビリ介入により歩行能力が維持されたと考える。



結果



歩行訓練の様子②

【ウォークトレーニングロボを導入して】
 当施設では短時間で効率的な有酸素運動を可能にするWTRを、筋力増強訓練やADL訓練などと一緒、リハビリメニューの中に組み込んでいます。
 利用者様からは、「また歩きたい」「前に進みにくいたことが運動になる」「音楽が流れて楽しい」といったもの

があり、モチベーション向上したことで歩行頻度が増加し、歩行速度の上昇に繋がりました。
 また施設内で使用することで他の利用者様から、「あの車はなに」「私も使ってみたい」など、WTRに対して興味を持って頂き、歩行の動機付けを推進してくれるツールとしても効果がありました。
 併設の今林整形外科病院ではWTR以外にも複数の医療機器を導入

入しており、これらの機器を連携することで、歩行能力向上に対して相乗効果を得られると考え取り組みを行っています。
 今後は、リハビリ専門職と介護専門職がともに協力し、誰もがWTRを操作できる環境を作り利用者様に歩く喜びを感じて頂きたいと思っております。



研く究める

よりよい介護を旨とし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

病棟における看取り介護の実態

後悔のない看取り介護をするために

介護老人保健施設 愛と結の街（鹿児島市） 介護福祉士 福島 昭平

【はじめに】

鹿児島県における高齢化率は令和2年で32.5%、65歳以上は51万人以上となっている。2012年には介護報酬改定で有料老人ホームなどにも看取り加算が開始され、高齢者ケア施設での看取りが推進されている。そのような中、令和3年度愛と結の街では6件、4年度も11件の看取りケアを実施している。当施設は一般病棟と認知症療養棟がありその中で看取りとしては基礎疾患の悪化等よりも、老衰により徐々に看取りへと移行するケースが多い。また、認知症療養棟での看取りの特徴として本人の意思確認困難さと、家族が代理で意思決定をしていく事がみられる。病棟での看取りケアが増加する中で、看取りを終えた後のデスカンファレンスにて該当ご利用者に対してのケアにもっと何かできたのではないのか。また、看取り契約はしていた

【方法・取り組み】

①当施設の介護職員29名を対象にアンケートを実施。各設問に対して「はい・いいえ」での回答とそれらの理由を自由記述方式で回答を求めた。
②現在進行中の看取りケアの中で不安に感じている内容の聞き取り調査実施

【期間】

令和5年5月1日～5月15日

【結果・考察】

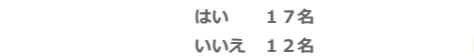
アンケートを2つの病棟29名の介護職に対して実施。ほとんどのスタッフが看取りを経験したことがあったが、うち12名のスタッフは看取りの経験が3回未満であり4～5回が10名、5回以上経験したスタッフは7名であった。看取りのご利用者者を担当として受け持ったことのあるスタッフは17名と59%。看取り介護について不安を持つているスタッフについては27名93%と大半のスタッフが回数にかかわらず看取り介護について何かしらの不安を抱いていること、病棟間の有意差は認めない事がわかった。どのようなことに不安を感じているのかも調査したところ、一番多かった意見としては、看取りご利用者の状態が死亡時のエンゼルケ

アンケート結果

これまで施設で看取り介護・看取り経験をしたことがありますか？



看取りご利用者の担当を受け持ったことはありますか？



築方法やそれらプランの共有方法が必要との意見が複数みられた。

【おとぎ】

看取りには初期から亡くなるまで切れ目なく状況に応じた関わりが必要となる。今回のアンケートの結果より看取りに必要なとされるケアの内容には専門的な医療内容が加わり不安を大きくしている原因となっている。また、人生の最後の場面である事も看取りに関して精神的な負担を感じる要因であり、これらの事柄からチームや職種を超えて本人・家族の望む最後に向け病棟全体で各職種の特性を意識した情報共有や勉強会を行い看取りに取り組む必要性が確認できた。そして、適切な看取りケアができるようになるだけでなく、本人・家族を含め看取りに関わるすべての人が思いを表出できる環境を病棟全体で作ってあげていくことで心身両面共によりよい看取り介護が少しでも提供できるようにしていきたい。

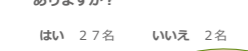
アを含め変化したときの対応や動き方が23名。次いでご家族への支援方法についてが18名。その次はご利用者の症状の観察、報告のタイミングについてが14名であり、その他の項目を含め看取りに関わるケアの広い範囲にわたり不安を感じているスタッフがいる結果であった。また、職務上や自身の身内で看取りの経験があるスタッフでは看取りまでのケアを適切に行っていたのかという内容が多く、経験年数の低い若い介護士は死に関する一連の全てを漠然とした不安を

抱いていることもわかった。看取りに関する勉強会などができる機会をつくるだけでなく、特に経験年数の少ないスタッフには日々の看取りケアの中で死生観が養われるようなミニカンファレンスや思いを相談できるフォロースタッフが必要と考えられる。看取りに関する何かしらの研修や勉強会の必要性に関して28名97%のスタッフが「はい」と必要性を認識しているが、研修や、学習をしたことのあるスタッフは11名38%と決して多くはなく、施設の看取り介護の指針

を見たことのあるスタッフも13名45%という結果であった。看取りに関する勉強会の頻度としては「年1～2回を定期的」が17名、「看取りの契約があったとき」が9名、「個人で必要に応じて」が2名と大半のスタッフが定期的に研修や勉強会が必要という意見が多かった。自由記述の中には「どのようなケアを行っていくか情報の共有が必要だ」と思ったり「契約時に家族にも希望確認を行って必要なケアを担当中心で考えることができると思う」という看取りケアの構

アンケート結果

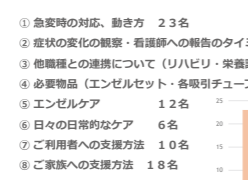
看取り介護について不安なことはありますか？



- どのようなことに不安を感じるか
① 急変時の対応、動き方
② 症状の変化の観察・看護師への報告のタイミング
③ 他職種との連携について（リハビリ・栄養師など）
④ 必要物品の場所（エンゼルセット・各吸引チューブ・酸素マスク）等
⑤ エンゼルケア
⑥ 日々の日常的なケア
⑦ ご利用者への支援方法
⑧ ご家族への支援方法
⑨ その他

アンケート結果

どのようなことに不安を感じるか



ご利用者の状態の変化に関する不安が多くみられた。

アンケート結果

研修や勉強を受けたい、あった方がよいと思いますか？



- 看取りの研修を受けたこと、または学習したことはありますか？
はい 11名 いいえ 18名
受けたことのある研修、学習した内容
看取りケア・グリーンケア・死生観
ACP（アドバンス・ケア・プランニング）
終末期のプロセス・看取りの方への関わり方
看取りの取り組み、看取り全般

施設内での研修の機会もすくなくないため研修に関する研修を受けたことがある人が少ない。

「どのようなケアを行っていくか情報の共有が必要だと思う」「契約時に家族にも希望確認を行って必要なケアを担当中心で考えることができると思う」という意見もあった。

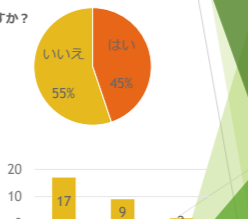
アンケート結果

施設の看取り介護の指針を見たことがありますか？



看取りに関する勉強会の頻度

- ① 定期的に年1～2度程度 17名
② 看取り契約時その都度のタイミング 9名
③ 個人で必要に応じて 2名



き取る事の出来る相談テクニックを磨いていきたいと思いました。相談援助をはじめ2年目、時折自分の仕事は本人様やご家族様の為になっているか?と思うことやジレンマに陥ったりすることはありますが頑張っていきたいと思えます。研修に参加させていただきありがとうございました。

・事例を交えての研修だったので、分かりやすかったです。面談等で今日の研修を活かせるようにしたいと思います。

愛と結の街 中村 真由美

第1回看護・介護部会研修会

日時：令和6年1月10日（水）14：00～16：00（質疑応答時間を含む）

会場：鹿児島県医師会館3階中ホール及び

Zoom同時配信等によるハイブリッド方式

参加者：Zoom（8施設）、会場（2名）

回答者：6名

参加方法：Zoom（YouTube）



テーマ

「高齢者の心身の理解

高齢者の特徴を踏まえた身体アセスメントとエンド・オブ・ライフケアを考える

講師：中村 倫丈 先生（公益財団法人慈愛会 今村総合病院）

【アンケート結果】

1. 評価

- ・良かった 4名
- ・あまり良くなかった 1名

2. 理解

- ・よく理解できた 3名
- ・どちらかといえば理解できた 3名

3. 今後改善した方が良くと思う項目

・開催場所について

今回コロナも5類となり、他施設の方との情報交換や顔合わせもできるのでは?と会場研修を選択しましたが、まだ季節的にも感染症リスクも高く、会場参加が当施設だけになってしまった。感染リスクがまだ高い時期ですので、研修募集を初めからZoomのみにしていた方が良かったのでは?とも思いました。

4. 次回の研修希望

- ・報酬改定
- ・鹿児島の災害対策
- ・ACP



令和5年度 研修会

第2回在宅ケア・支援相談部会

日時：令和5年12月13日（水）14：00～16：00（質疑応答時間を含む）

会場：鹿児島県医師会館3階中ホール及び

Zoom同時配信等によるハイブリッド方式

参加人数：23名

回答者：7名

テーマ

「家族支援 介護家族の現状や心理など」

講師：岩下 周子 先生

（社会福祉法人富士福祉会 施設長 障がい者支援施設「ふじ美の里」）

【アンケート結果】

1. 評価

- ・非常に良かった 5名
- ・良かった 2名

2. 理解

- ・よく理解できた 5名
- ・どちらかといえば理解できた 2名

3. 次回はどのような研修会を希望しますか（テーマ・内容・講師など）

- ・対人援助職として職業倫理について学びたい
- ・ACP等、各施設で取り組まれる内容や具体的な例を踏まえて知りたい。

4. 本日の講師や、研修の内容について、感想をお書きください

・岩下先生の研修ということで参加しました。リアルなエピソードを交え、用語や理論を先生の言葉で説明して下さるのでとても分かりやすかったです。普段の業務が実践先行で根拠や理論は後付けなことが多いので、非常に有意義な研修でした。本当にありがとうございました。

・具体的に説明して頂き非常にわかりやすかったです。

・ダイナミクスの絵解き作業は日々、業務の中で繰り返されていることでありながら“本人主体”となりがちであったという反省と改めて家族支援について専門職としての視点でスキルを磨けるよう、ご利用者・ご家族に向き合っていきたいと思えます。ありがとうございました。

・事例や体験談を交えながら丁寧にお話しくださりとても聞きやすく勉強になりました。

・今回の研修を受けて「自分はアセスメントシートを埋める」「生活歴をしっかり聞き取る」という所だけを意識していたと思えました。ご家族や本人の歴史をしっかり知ること、歴史の段階段階で本人や家族の心境はどのように変化し、現在までに発達してきたのを聞

ろうけん広場

鹿児島老人保健施設協会の県民公開講座「チャレンジ！宇宙への挑戦！！」

講師：JAXA広報部の宮里さん（西之表市出身） ロケット開発や月面基地を解説



講師を務めたJAXAの宮里光憲さん

鹿児島県老人保健施設協会の第10回県民公開講座が昨年12月9日、鹿児島市金生町のよかど鹿児島で開かれました。テーマは「チャレンジ！宇宙への挑戦！！」。宇宙航空研究開発機構（JAXA）広報部の宮里光憲さんが最先端の宇宙開発プロジェクトなどについて講話、大勢の市民が熱心に耳を傾けました。

西之表市出身の宮里さんは、ロケットを追尾する組織の責任者として多くの打ち上げに立ち会ってきました。この日の講座では迫力いっぱいの大型スクリーンを使いながら、日本のH-IIA、H-IIB、H3、イプシロンロケットを紹介。会場にロケットの打ち上げ時のご音も流れ、参加者たちは驚いた様子でした。

月面基地構想や実現のため取り組むべき課題など興味深い話も紹介。宮里さんは「未来はみんなで切り開くものです。努力とはもう限界だと思った後の一歩です」と、経験を通して学んだことを披露しました。会場には宇宙食も並べられ、多くの学びがある講座となりました。

講座に先立って、主催した県老人保健施設協会の今村英仁会長が、老健施設がどういう存在なのか説明しました。



老健について語る今村英仁会長



迫力ある画面を使い、ロケットや宇宙開発について宮里さんが解説

5. 本日の講師や、研修の内容について

- ・興味深い内容を丁寧に教えてくださいました。
- ・ACPについて当施設でも始めているところです。いざ急変した時、家族の意向がかわることもあるのが難点です。急変時早期に対応できるよう日々努力していこうと思います。
- ・中村先生の講義は、とても分かりやすかったです。認知症の方が多く、介護スタッフや看護職員からのいつもと違う、という状態の気づきはとても大事なことで、今まで何回もその気づきで早期発見につながったことがあります。講義を傾聴し、改めて介護スタッフへの指導、連携の必要性を考えました。ありがとうございました。

シルバーセンター光の里 中野 奈利子

協会だより

令和5年11月～

- 令和5年度第2回かごしま外国人材受入活躍推進会議
開催日：令和6年2月15日(木)13:30～16:00
場所：ホテルウエルビューかごしま2階 潮騒
内容：外国人材政策推進に係る関係機関からの説明等
- 第28回鹿児島県介護老人保健施設大会
開催日：令和6年2月27日(火)9:00～17:40
令和6年2月28日(水)9:00～11:50
場所：鹿児島県医師会館3階及び4階
テーマ：未来を創る 老健チャレンジ
～働き手クライシスに打ち克つ～
特別講演：令和6年2月27日(火)16:00～17:40
テーマ：2024年介護報酬改定のポイントと介護老人保健施設への期待
講師：佐野 隆一郎 先生(厚生労働省老健局 老人保健課)
- 令和5年度第1回介護のお仕事促進事業
開催日：令和6年2月27日(火)～28日(水)
9:00～15:00(28日は11:45まで)
場所：鹿児島県医師会館3階中ホール2
テーマ：～現場の先輩に聞こう～「老健」の「介護の仕事」の魅力
- 令和5年度第2回理事会
開催日：令和6年3月6日(水)16:30～17:00
開催方法：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信
議題：令和6年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について
- 令和5年度第2回介護助手事業に係る企画評価委員会
開催日：令和6年3月12日(火)14:00～15:00(予定)
場所：鹿児島県医師会館3階中ホール
実績報告等：久留須 直也 准教授(鹿児島女子短期大学)
- 令和5年度第2回事務長部会
開催日：令和6年3月22日(金)14:00～16:00(予定)
場所：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる同時配信等によるハイブリッド方式
テーマ：「介護老人保健施設における介護報酬改定の概要」
講師：村上 佳子 先生
(株式会社M&Cパートナーコンサルティング代表取締役)

- 令和5年度第2回臨時会員総会
開催日：令和6年3月22日(金)16:30～17:30(予定)
開催方法：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信
議題：令和6年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について
 - 令和6年度合同(ブロック代表事務長・研修担当委員・県大会実行委員)委員会
開催日：令和6年4月17日(水)14:00～16:00(予定)
場所：鹿児島県医師会館3階中ホール
- 【ご参考】
- 第23回九州ブロック介護老人保健施設大会 in みやざき
開催日：令和6年7月11日(木)～12日(金)
場所：フェニックス・シーガイア・リゾート コンベンションセンター
テーマ：老健 今!! 明日に繋げる「チームの力」
一人ひとりにかけがえのないひなた



(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。



寄田小学校跡



寄田松之助の墓



久見崎の石仏



日和山



開拓記念碑(池之段)



寄田の棚田



知元庵跡



久見崎漁港



本馬場

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.15

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム
かごしま探検の会代表理事



南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

薩摩川内市高江地区を訪ねて②

各時代を反映した「物語」の多い地域

前回に続き、江戸期の高江郷を紹介したい。今回の地域は川内川の河口付近から東シナ海沿いにかけての滄浪地区と寄田地区。滄浪地区には、久見崎と呼ばれる藩の軍港が置かれていた。現在は埋め立てなどが進み、当時の港の面影はわずかとなったが、それでも漁港の周辺には、いくつかの史跡が点在している。

久見崎が軍港として知られるようになったのは戦国期のことで、天正3(1575)年に島津家久が上京する際にこの港から出航し、またその兄である島津義弘が慶長2(1597)年に朝鮮出兵のために出陣したのもこの港である。

その翌年に島津義弘の軍勢は久見崎港に帰還するが、出迎えに来ていた女性たちのなかには、夫が帰らぬひとになったものもあつた。その女性たちが亡き夫を想い始まったとされる「想夫恋」という盆踊りが当地には伝わっている。

港の形状は大きく変化したが、本馬場と呼ばれる主要道はしっかりと現在も主要道であり、日和山という気象観測を行っていた場所には、珍しい形状の石塔が安置されている。また、鍛冶屋と呼ばれる地区の入り口には廃仏毀釈をくぐり

抜けた石仏がある。

さらに山手には知元庵という寺院跡がある。正徳4(1714)年以前に松下伝左衛門という武士が出羽国生まれの知元和尚を招聘して建立した寺院で、見事な大日如来像が住職墓とともに山林に残されている。

東シナ海沿いに位置する寄田地区のかつての小学校跡地には、寄田松之助の墓が校庭跡の片隅にある。この人物は南北朝期に活躍した武将とされているが詳しいことはわかっていない謎多き人物である。

寄田地区は斜面地や山間部にあたり、田畑をこしらえるには難があつたことから数多く溜め池が構築されている。それらを利用した棚田が広がっていて、田の神像もある。また明治期に対岸に浮かぶ甌島からの開拓移住が行われていて、池之段集落と上野集落には、そのことを伝える記念碑が建立されている。江戸期には寄田野牧があり、馬が数多く生育された場所でもあつた。

このように、高江郷も各時代を反映した物語の多い地域といえよう。

(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を続けている。



千葉しのぶさん かごしまの食卓

春編

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



大地の生気が噴き出したような旬のタケノコの季節になりました。コリコリした歯ごたえとかすかな苦みを持った旨みは、鹿児島春の食卓に欠かせない山の恵みです。さつま町のタケノコ生産者の方に、掘りたてのこく新鮮なタケノコは「米ぬかでなく塩でゆでたほうが香りを逃がさずにおいしく仕上がる」と教わりました。定番のたけのこご飯は、鶏肉やグリーンピースと一緒に炊き込むと、旨みや甘みがお米に凝縮されます。

たけのこご飯



鶏モモ肉の皮ははがさずに使いましょう。うまみが増しておいしいです。

- レシピ
作りやすい分量
- 米 3合(450g²)
 - ゆでたけのこ 150g²
 - 鶏モモ肉 150g²
 - グリーンピース 20g²
 - 調味料(薄口しょうゆ大さじ3, 酒大さじ1)

- ①米は洗いザルにあげておく。
- ②ゆでたけのこは食べやすい大きさの薄切りに、鶏モモ肉は1²角に切る。
- ③炊飯器に①と調味料を入れ、3合分の水加減になるように水をたし、②を上のにせ、すぐにスイッチを入れる。(※米と具材はまぜない。米が十分に加熱されず芯が残ることがある)
- ④炊きあがり後にグリーンピースを加え、蒸らす。

つわのつくだ煮



皮付きのツワの場合は、熱湯でさつとゆでて水にとり皮をむいてから調理しましょう。

「つわ」は炒め煮や卵とじに煮物と、この時期重宝する春の食材です。正式には「ツワブキ」で岩の上などの厳しい環境でもたくましく育つことから「石蓐」と書きます。綿毛をいっばいつけた新芽が出る時期には、それぞれ、あらかじめめどをつけた「とっておき」の場所に、ツワ採りに行く人々の様子も見られます。佃煮にすると弁当や常備菜に便利です。砂糖やみりん、しょうゆで煮詰めた後、少量の酢を加えると味が締まります。

- レシピ
作りやすい分量
- むきつわ 200g²
 - 調味料 (砂糖大さじ2、本みりん大さじ2と1/2、濃い口しょうゆ大さじ1と1/2)
 - 酢 小さじ1/2
 - 白ごま 小さじ1

- ①むきつわは、4、5²長さになり、たつぷりの熱湯で5分ゆでて水に取る。
- ②調味料を鍋に入れ火にかけ、砂糖が溶けたら①を入れ、中弱火で汁けが少し残るくらいまで煮詰め、酢を加え、白ごまをからめ、火からおろし、味をなじませる。

こぼれおちた ものもの

39

三角みづ紀



姉と母がメキシコシティの空港に到着したのは十二月半ばだった。夫とふたりで荷物を抱えて迎えに行き、そのままタクシーへ乗りこむ。五十キロほど離れたテオティワカンにある、ピラミッドが見える宿に二泊する。

母がメキシコに来ると言ったのは意外だった。一般的なイメージでは治安が悪いし、ヨーロッパの静謐さが好きな母だから、ほんとうにびつくりした。実際は、北部をのぞけば治安はそんなに悪くない。宿へ向かう車窓から景色を眺めて、奄美の植物と同じだ、と母が呟いた。あちこちに立派なサボテンが生えている以外は、たしかに似ている。プーゲンピリアやダチュラが咲き誇っている。

瞬間瞬間が宝物



場所、犬が夜とおし吠えていた。翌日は姉の誕生日だった。午前中に観光をしたら部屋で休もうと考えていたのに、思いのほか広く

て、博物館もあって、ピラミッドの前に並んでいる土産物をひやかしつつ、散策していたら昼食の時間になる。洞窟のなかにあるレストランでお祝いをする。

この日のみで十五キロくらい歩いていて、七十才を過ぎていて母は元気だなどと思った。同時に、よく食べてよく歩いてよく喋る母の姿に安心もする。姉は日本にいるときと変わらず、露天商のおじさんに話しかけ、一緒に鳥をかたどった笛を吹いたりしていた。世界のどこにいても、笑いながら生きていけそうなくまじさがある。

賑やかな家族旅行は二週間弱づく。母たちが帰国してしばらくしたら、わたしも三ヶ月の滞在を終える。中南米にはじめて滞在して、なにか自身に変化があるだろうかと考えていたが、あたらしい生活でもエッセイや詩をたくさん書いていて、日本の暮らしとさほど変わらない。

そんな自分がかかりするし、安堵する。けつきよくはどこにいても書く行為が一番好きなのだ。いまは午前四時過ぎで、みんな眠っている。今日は天使の町と称されているプエブラに移動する。歴史地区は世界遺産に登録されていて、町並みを見ているだけでも楽しいだろう。きつと笑いたえない。

「家族」
母がいて姉がいる異国でもわたしは手をつないでカメラを持って歩いている

この眼球もレンズになつて瞬間をのがしたくないからいつだって綴っているのだから生きていくって知りながら

都市遺跡は静謐だ。顔をほころばせながら歩くわたしたちは、しっかりと家族だ。夫のことも息子や弟みたくに思ってくれていて、感謝する。太陽のピラミッドから月のピラミッドへ向かい、ケツアルコアトルの神殿に登ってみたりした。ノバルと呼ばれるサボテンが自生して、赤い実をつけている。

テオティワカン遺跡は黒曜石が有名で、母とおそろいのネックレスを買う。今日の散策でも大切に受けよう。姉には黒曜石でつくられた猫の置物を買った。ささやかな誕生日プレゼント。年をとるごとに、家族の重要さについて実感が増していく。いつか、死というかたちで別離することとは、生まれたときからわかっている。それだけに、瞬間瞬間が宝物だ。

三角みづ紀(みすみ・みつき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。



座位のまま移乗できます。
寝返りなど吊り具を敷き込むための介助の必要がなく、車椅子やベッドなどから座位姿勢のまま移乗できます。



下衣の上げ下げが簡単です。
臀部を支える吊り具がありませんから、下衣の脱ぎ着が手早く簡単に行えます。

終わりに

介護現場で腰痛発生リスクの高い排泄介助、中でも下衣着脱や清拭の際の身体保持は介助者にとっても、ご利用者にとってもリスクが高く、負担の大きい介護動作といえます。

従来のスタンディングリフトは「軽介助で立位が取れる方」「軽介助で立ち座りができる方」を対象としていましたが、onbu は足部が床に接地しないことからより立位保持能力の低い方まで対象となりました。

カクイックスウィングでは、株式会社いうら様と連携して皆様の施設でデモが可能です。

ご興味のある方、試してみたい方は担当の営業社員へ気軽にお声掛けください。

*文・写真：株式会社いうら 商品カタログより引用



介護用品あれこれ

介護用品あれこれ

～排泄サポートリフト onbuのご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 **湯脇 稔**

はじめに

今回は、今年 2 月に株式会社いうらより正式発売された“心地良い排泄のパートナー” Onbu (おんぶ) を紹介させていただきます。

Onbu とは

Onbu は「不安定になりがちな立ち上がり動作をすることなく、安心して排泄介助が行える」をコンセプトに開発された新発想のリフトです。

onbu の利点

従来のスタンディングリフトでは足部・膝（脛骨）・腰部、または足部・膝（脛骨）・胸部（腋窩）で身体を支持していたのに対し、onbu では膝窩・胸部（腋窩）支持となり、まるでおんぶされているような状態で身体を支持できるようになったことから立位保持の難しいご利用者まで対応可能となりました。

onbu の利用場面

基本的に座位での身体支持となりますが、排泄介助では臀部を支える吊り具を使用しないことから下衣の脱ぎ着や清拭が手早く簡単に行えます。

また、ベッド～車いす間や、車いす～食堂等の椅子への移乗介助にも活用できます。

これまでの吊り下げたり、立たせたりするのではなく、脇、胸、膝裏で、おんぶのように支える吊り具不要の新発想リフトです。



⑫アンダンテ伊集院
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
 ☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
 ケアセンターリエゾン日置
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)

⑬ラ・フォンテいずみ
 〒899-0214 出水市五万石町281
 ☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもぞのクリニック
 ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所

⑭グリーンフォレストみかさ
 〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
 ☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
 グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
 阿久根市在宅介護支援センターみかさ

⑮ライフハーバーいちき
 〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
 ☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
 吹上園・市来松寿園
 市来町在宅介護支援センター

⑯グレースホーム
 〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧洲8920番地
 ☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
 グレースホーム訪問看護ステーション
 グレースホーム居宅介護支援事業所

⑰ゆくさ白浜
 〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
 ☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)
 グループホームもぜ

鹿児島地区

①城山老健
 〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
 ☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
 ケアハウス出かい坂
 居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出かい坂

②スイートケアなかよし
 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
 ☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
 いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
 〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
 ☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
 居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
 デイサービスセンター ケアガーデン西田

③ニューライフいずみ
 〒899-0217 出水市平和町336-1
 ☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井整形外科内科中央病院
 ユニット型老健グランアージュ
 鶴寿園(特別養護老人ホーム)

④長生園ナーシングセンター
 〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
 ☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
 在宅介護支援センター 長生園
 グループホーム 自立の家

⑤回生苑
 〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
 ☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
 阿久根市在宅介護支援センター
 桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)

⑥さるびあ苑
 〒896-0002 いちき串木野市春日町63
 ☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
 串木野市在宅介護支援センター
 慈正会居宅介護支援事業所

⑦シルバーセンター光の里
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
 ☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
 グループホーム あったかハウス
 訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里

⑧グリーンライフ川内
 〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
 ☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
 薩摩川内市在宅介護支援センター
 薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)

⑨パラディーノほたるの里
 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
 ☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
 鶴田町在宅介護支援センター
 居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里

⑩グラン・ベリテひわき
 〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
 ☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

市比野記念病院
 翠泉苑(特別養護老人ホーム)
 指月苑(養護老人ホーム)

⑪湯の浦ナーシングホーム
 〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
 ☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
 居宅介護支援事業所
 (湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所

⑦ろうけん始良
 〒899-5652 始良市平松5062
 ☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
 居宅介護支援事業所ろうけん始良
 訪問介護事業所ろうけん始良

⑧青雲荘
 〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
 ☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
 居宅介護支援事業所青雲

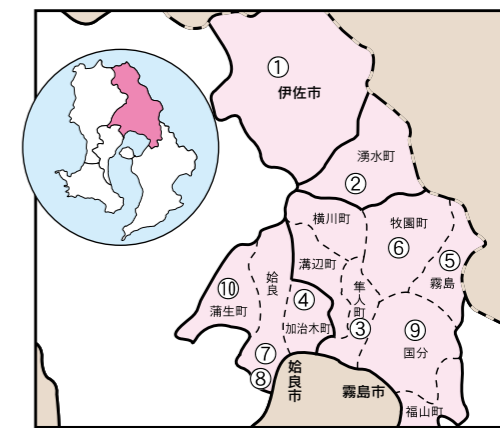
⑨アメニティ国分
 〒899-4301 霧島市国分重久361-1
 ☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
 うのきデイサービス(認知症専用)
 ヘルパーステーションアメニティ国分

⑩ろうけん大楠
 〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
 ☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
 ろうけん大楠居宅介護支援事業所
 大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと
 〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
 ☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
 ことぶき園(特別養護老人ホーム)
 グリーンハイツ周山(ケアハウス)

②寿芳苑
 〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
 ☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
 グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
 グループホーム愛の里

③希望の里
 〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
 ☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
 訪問看護ステーション姫城
 グループホーム「ゆうゆう」

④シルバータウン加治木
 〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
 ☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
 加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
 龍門の里(軽費老人ホームA型)

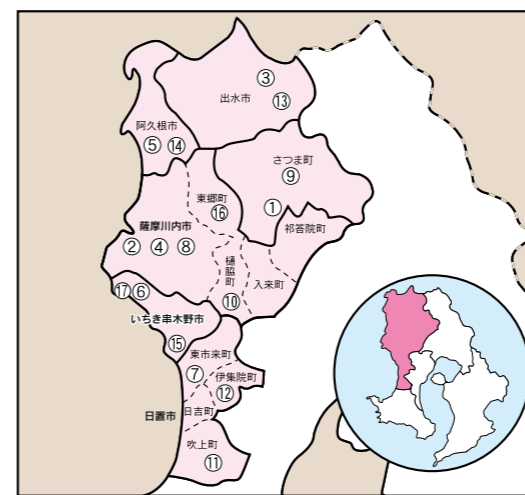
⑤きりしま
 〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
 ☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
 訪問看護ステーションあんしん
 グループホームゆめ

⑥サンライトホーム
 〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
 ☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
 霧島青葉園(身体障害者療養施設)
 霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
 ☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
 訪問看護・リハクオラU
 グループホームアリエ

②あじさい苑
 〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
 ☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
 きららクリニック
 グループホームそら



⑦おさしお
 〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
 ☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501
 グループホームきらら
 長崎内科
 陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン
 〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
 ☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802
 平和台病院
 介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑
 〒891-2124 垂水市錦江町1-140
 ☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280
 垂水市立医療センター、垂水中央病院
 垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
 居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ
 〒893-2301 肝属郡錦江町神川188-1
 ☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105
 肝属郡医師会立病院
 居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた
 〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
 ☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201
 はるびゅうクリニック
 訪問看護ステーションふるる
 居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑
 〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
 ☎099-477-2331 FAX 099-477-2335
 曾於医師会立訪問看護ステーション
 曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆
 〒891-2104 垂水市田神3536番地1
 ☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163
 池田温泉クリニック
 グループホームひまわり苑
 小規模多機能ホームひまわりの里

南薩地区



①指宿温泉菜の花苑
 〒891-0402 指宿市十町418-1
 ☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239
 今林整形外科病院
 明正会介護支援ネットワーク菜の花
 (居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム
 〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
 ☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530
 高原病院
 末吉町在宅介護支援センター
 末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり
 〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
 ☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727
 鹿屋訪問看護ステーション
 居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑
 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
 ☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964
 昭南病院
 大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑
 〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
 ☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160
 春陽会中央病院
 高山町在宅介護支援センター
 訪問看護ステーションたんばほ

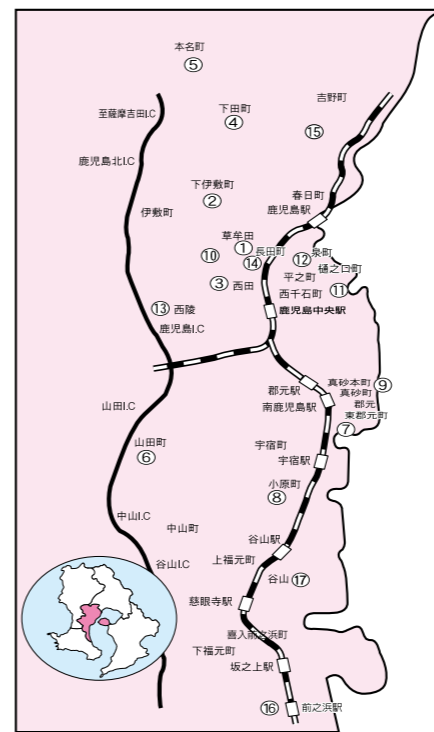


⑤ヴィラかのや
 〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
 ☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226
 恒心会おぐら病院
 居宅介護支援事業所ヴィラかのや
 訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき
 〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
 ☎099-472-5666 FAX 099-473-3494
 病院芳春苑(精神科)
 ケアハウスぬくもり
 グループホーム南の家族

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑬ナーシングホーム田上苑
 〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
 ☎099-283-0120 FAX 099-283-0517
 田上記念病院
 居宅介護支援事業所はるかぜ
 クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森
 〒892-0854 鹿児島市長田町223
 ☎099-219-1122 FAX 099-219-1123
 中村(哲)産婦人科・内科
 博悠会温泉病院
 特別養護老人ホーム城山の森



⑮ろうけん青空
 〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
 ☎099-243-4330 FAX 099-243-5599
 明輝会クリニック
 グループホーム帯迫&ひばり
 小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ
 〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
 ☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186
 特別養護老人ホーム喜入の里
 新田クリニック
 小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑
 〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
 ☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



④さくらんぼ
 〒892-0873 鹿児島市下田町1759
 ☎099-244-8811 FAX 099-244-8700
 鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
 ヘルパーステーションさくらんぼ
 居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム
 〒891-1304 鹿児島市本名町472
 ☎099-294-4561 FAX 099-294-4562
 ケアプランセンター木蓮
 ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム
 〒891-0104 鹿児島市山田町450
 ☎099-260-6000 FAX 099-268-1540
 Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑
 〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
 ☎099-252-8291 FAX 099-252-5526
 厚地脳神経外科病院
 厚地リハビリテーション病院
 在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街
 〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
 ☎099-260-6060 FAX 099-284-5689
 居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
 谷山病院
 いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり
 〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
 ☎099-285-2211 FAX 099-258-7971
 大勝病院
 訪問看護ステーション真砂本町
 鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



⑩まろにえ
 〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
 ☎099-226-3270 FAX 099-226-3271
 米盛病院
 マロニエ訪問看護ステーション「護国」
 整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石
 〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
 ☎099-223-3300 FAX 099-223-3560
 日高病院
 介護相談センター西千石
 ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ
 〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
 ☎099-225-8660 FAX 099-225-8601
 中央病院
 桜島病院
 桜島苑(特別養護老人ホーム)

花だより…

祝迫正豊

3、4月は花の季節。「きれいに咲いた」など、花の便りを聞くのが楽しい。わが家の庭に例年より早くミモザの花が咲いた。家の前を自転車で行き来する女性が「今年も咲きましたね〜」と、声をかけてきた。黄色く細かい粒々の花に想いがあるのだろう。女性は一枝を持ち帰った。

冬から春にかけて静かに咲く蠟梅（ろうばい）もううれしい。ろうそくを思わせる鈍く淡い黄色の花びらが不思議だ。福岡の義父の庭から小さな株を2本分けてもらい、育てた。家内は父親の姿と重なると言う。

3月に「生誕120年、吉井淳二特別展」が枕崎市南溟館で開催された。画家を目指した初期作品から晩年の絵が展示された。

100歳まで画家を貫いた吉井淳二芸術が今も息づいている。花かごを頭に置いた女性の油絵や野の花のスケッチなど、素朴で先生らしい絵だ。

先生との思い出は多い。かつて東京から先生が帰鹿された初秋のこと、小林の生駒高原でコスモスのスケッチに同行させてもらった。先生は背丈以上のコスモスの花株の間に潜るように入り、約1時間スケッチされた。

思ったスケッチができなかったのか「もう一度、来られたら描けそうだな」と苦笑いしておられた。

上京した際、荻窪のご自宅に寄らせてもらう機会があった。玄関、応接間のお気に入りの花瓶に生けられた花があった。同級生である海老原喜之助や、抽象画家の山口長男のフランス留学時代などのエピソードも聞くことができた。二科会一筋で二科会理事長を務められ、文化勲章を受章するなど、吉井先生は手の届かない存在の画家である。展示会場はいぶし銀の絵画、花の絵は魅力いっぱいであった。

今回の表紙、「やぶ椿」は小品。やぶ椿は素朴で、品種改良されたにぎやかな花にない魅力がある。深紅の花は青緑の葉と隣り合わせに引き立つ。入り組んだ樹間に生え、力強く感じる。



表紙絵「やぶ椿」F3号



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）
 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県展 県展賞（最高賞）
 1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
 1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
 2021年 南日本美術展「委嘱作家賞」
 2023年 第107回二科展「東京都知事賞」
 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

ろうけん鹿児島（令和6年春号）
 令和6年4月1日発行 通巻115号 無料
 編集委員 米森 俊一（県老人保健施設協会理事）
 加治屋 洋（さるびあ苑）
 谷山 尚（さくらんぼ）
 印刷所 今村 英仁
 発行所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-12
 〒900-0003
 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館301
 電話099(0)97-077 FAX099(0)97-077
 E-mail:k-roken@po.mic.ne.jp
 Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

編集後記

◇今月号の特集は、2月に沖縄で開かれた九州ブロック介護老人保健施設大会です。沖縄大会は2回目となり、沖縄の会員施設の積極的な発表が目立ちました。地元開催への熱い思いが伝わってきました。鹿児島の人たちも、日頃の熱心な取り組みを発表しました。

◇大会があった宜野湾市には米海兵隊の普天間基地があります。大会前に基地を見下ろす高台を訪れました。軍用機の発着は見られませんが、街のど真ん中に移設問題で注目される広大な基地があることを肌で知りました。

◇2月1日はプロ野球キャンプインの日で、宜野湾市の私の宿泊先には、横浜ベイスターズが来ていました。暑くてその日はTシャツ一枚で十分でした。プロ野球のチームがキャンプ先に沖縄を選ぶ理由がわかりました。（米）

熊毛・大島地区

①わらび苑
 〒891-3101 西之表市西之表2981-1
 ☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601
 社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
 わらび苑居宅介護支援事業所

②沖永良部寿恵苑
 〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
 ☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650
 福山医院

③虹の丘
 〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
 ☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800
 虹の丘訪問介護事業所
 虹の丘居宅介護支援事業所
 在宅介護支援センター虹の丘

④風花苑
 〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
 ☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012
 龍美クリニック

⑤せとうち
 〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
 ☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913
 奄美中央病院
 南大島診療所

⑥アマンデー
 〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
 ☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099
 朝沼クリニック（診療所）
 居宅介護支援事業所たちがみ
 在宅介護支援センターたちがみ

⑦サザンコート
 〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
 ☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093
 医療法人南溟会 宮上病院
 社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園

⑧秋名の郷
 〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
 ☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110
 秋名の郷通所リハビリテーション
 秋名の郷訪問介護事業所

⑨愛心園
 〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
 ☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502

②かわなべ寿光苑
 〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
 ☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331
 菊野病院
 寿光苑在宅介護支援センター

③エスポワール立神
 〒898-0048 枕崎市火之神町630
 ☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265
 小原病院
 立神リハビリテーション温泉病院
 ピースフル立神（介護老人福祉施設）

④指宿やすらぎ園
 〒891-0304 指宿市東方7531
 ☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912
 指宿竹元病院
 指宿みどり館（認知症高齢者グループホーム）
 老人性認知症センター

⑤ラポール吉井
 〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
 ☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788
 アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
 加世田アルテンハイム
 グループホーム までしこ

⑥シルバーライフちゃん
 〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
 ☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096
 ちゃんクリニック

⑦さつま野菊園
 〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
 ☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950
 大迫医院
 フレンドリーハウス のぎく（グループホーム）
 特別養護老人ホーム 石垣の里

⑧ヴァンペールみどりの風
 〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
 ☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522
 指宿浩然会病院
 指宿訪問看護ステーション
 居宅介護支援事業所

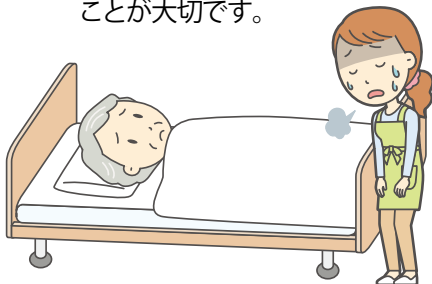
⑨サザンケアセンター
 〒898-0011 枕崎市緑町236
 ☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233
 サザン・リージョン病院
 サザン訪問看護ステーション
 南方園（介護老人福祉施設）

⑩指宿温泉ケアサポート
 〒891-0311 指宿市西方1050番地
 ☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393
 医療法人聖仁会

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

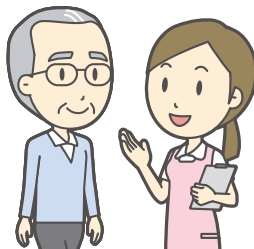
理解

虐待が起きる要因は様々です。
介護する側・される側
双方の不安や悩みを理解することが大切です。



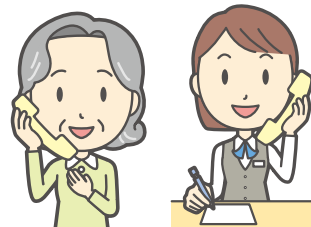
見守り

ご近所に気になる
高齢者や介護をして
いる家族がいたら、ち
よっとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えてい
る高齢者や家族が
いたら、地域包括支
援センター等への相談を勧めま
しょう。



地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら!

お住まいの

市役所・
町村役場

または

地域包括
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

[公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部]

(相談日/月~金 10:00~16:00)※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)